

千葉商科大学 プレスリリース

人間社会学部×湖山医療福祉グループ 『明日の福祉アイデアコンテスト』グランプリ決定!!

千葉商科大学(学長：原科幸彦)人間社会学部(学部長：朝比奈剛)と、湖山医療福祉グループ(代表：湖山泰成、東京都中央区)は、全国の高校生から募集した「明日の福祉アイデアコンテスト」の厳正なる審査を実施し、グランプリ2件(原科賞・湖山賞)を決定しましたので、お知らせします。

3回目を迎えた「明日の福祉アイデアコンテスト」は、家族・地域交流・健康の観点から自宅や医療福祉現場で実践できる新たな試みを全国の高校生から募集し、未来につながる「明日の福祉」を考える契機にしてみらうことを目的として開催したもので、今年度は160件の応募がありました。

応募作品については、原科幸彦学長、湖山泰成代表をはじめ、人間社会学部および湖山医療福祉グループの医療福祉分野を専門とする審査委員が審査を行いました。

高校生の柔軟な発想から生まれた素晴らしいアイデアの数々は、今後、湖山医療福祉グループの施設での実施に向けて検討していきます。

◆「明日の福祉アイデアコンテスト」結果

応募期間：2017年7月1日(土)～9月29日(金)

【グランプリ(原科賞)：賞状、副賞(奨学金5万円)、記念品】

アイデア名	「地元の伝統野菜(かき菜)でソーシャルビジネス」
受賞者	栃木県立佐野松桜高等学校2年 大森 康平さん
概要	地元の高校生が主体となり、企業や自治体、地域住民を巻き込んで、かき菜の加工品や料理の提案などを行う。産学官民が協力してPRを行うことで、佐野市の活性化につながり、地域住民を元気づける。
審査講評	地域活性化は現代の重要課題であり、産学官民の連携も多くみられるなか、本提案は伝統的食材の活用に着目した点で地域連携に加え、高齢者の知恵を活かし、社会参加を促すといった福祉的観点を持つ魅力的なアイデアである。

【グランプリ(湖山賞)：賞状、副賞(奨学金5万円)、記念品】

アイデア名	「高齢者施設同士での交流の場を作る」
受賞者	千葉県立松尾高等学校3年 赤松 瑞希さん
概要	複数の高齢者施設間で、高齢者同士がLINEやスカイプ等の無料ビデオ通話を通し会話する。また、ゲーム大会や散歩等のイベントを企画し活動の範囲を広げ、人との関わりが少ないという高齢者の問題を解消できる。
審査講評	複数の高齢者施設を繋ぐツールに敢えて若者の文化の象徴であるLINEやスカイプ等を使ったアイデアが素晴らしい。さらにゲーム大会やお出掛けなどのアクティビティに広がり企画しており高く評価できる。

【優秀賞：賞状、副賞(図書カード1万円)、記念品】10件

※ 詳細は本学公式サイトで公開しています。

http://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/ningenshakai/news/2017/contest_result.html

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター

〒272-8512 市川市国府台1-3-1 TEL: 047-373-9968 FAX: 047-373-9969 E-mail: p-info@cuc.ac.jp



千葉商科大学

www.cuc.ac.jp